

令和元年度在宅医同行研修企画書

令和元年 7 月 23 日
在宅療養連携会議
第 2 回全体会議 資料 6－1

- 1 趣 旨** 市民が安全で安心な在宅療養生活を送るためには、それを支える地域の在宅医の存在は欠かせない。2019 年 3 月 1 日現在、在宅療養支援診療所として 43 の診療所が登録しているが、団塊の世代が後期高齢者になる 2025 年を見据え、在宅医を増やすことは喫緊の課題である。
- さらに、すでに在宅医療を行っている医師のスキルアップや在宅医同士の診療連携、病院勤務の医師や看護師、コメディカルに在宅医療の現場について認識を深めてもらうことも病診連携の視点から重要であると考え。
- また、薬局の薬剤師や歯科診療所の歯科医師にも、在宅医療の現場について認識を深めてもらい、連携の推進を図ることで、在宅医の新規参入や在宅医療をスムーズに進めるために重要であると考え。
- そのため、在宅医療の実施の有無、あるいは開業医・勤務医の別にかかわらず、多くの多職種にベテラン在宅医の現場を体験していただく機会を用意する。
- 2 主 催** 横須賀市
一般社団法人横須賀市医師会
- 3 対 象** ①診療所医師
・在宅医療未参入の開業医
・スキルアップを目的とした在宅医療参入済み医師
②市内病院勤務医・看護師・その他コメディカル
その他研修を必要とする職種
③歯科医師（歯科衛生士）
④薬局薬剤師
- 4 受講可能回数** 原則として年間 1 回／1 受講者
- 5 実施方法** ①市から指導医を依頼する。
②希望者（受講者）は申込書を横須賀市地域医療推進課へ送付（随時受付）
③市は指導医を選定し、マッチングを行う。
④マッチング結果（決定連絡票）を申込者へ送付する。
⑤指導医と受講者は調整の上、同行研修を実施する。
⑥指導医・受講者とも、同行研修実施報告書（受講報告書）を市へ提出する。
⑦市は、指導医へ指導謝礼金を支払う。
- 6 周知方法** ①医師会員へ横須賀市医師会から通知する。
②市内病院へ本市地域医療推進課から通知する。
③診療所歯科医師へ本市地域医療推進課から、横須賀市歯科医師会を通して通知する。
④薬剤師へ本市地域医療推進課から、横須賀市薬剤師会を通して通知する。

（裏面あり）

7 指導医 在宅療養支援診療所医師（医師会推薦者） 12 名

千 場 純 医師（三輪医院）
磯 崎 哲 男 医師（小磯診療所）
土 田 匡 明 医師（湘南山手つちだクリニック）
金 成 正 浩 医師（金成医院）
春 田 明 郎 医師（横須賀中央診療所）
小 川 伸 郎 医師（ながいクリニック）
野 村 良 彦 医師（野村内科クリニック）
阿瀬川 孝 治 医師（汐入メンタルクリニック）
塚 本 光 嘉 医師（大畑医院）
佐 藤 眞紀子 医師（フロムワン付属診療所）
西 村 京 子 医師（秋谷潮かぜ診療所）
新 井 正 晃 医師（汐入ぱくクリニック）